

第51回熊本県芸術文化祭参加
第5回阿蘇市文化祭開催



平成21年度第5回阿蘇市文化祭が阿蘇市体育館に於いて11月2日と3日の2日間にわたり盛大に開催されました。文化協会の一大行事である文化祭も、今年は5回目という節目の年でした。それだけに内容の充実に全会員が努力した結果、市民の皆様には満足していただけるものとなりました。作品の展示数は700点

を上回り、ステージ上では88組の皆さんが日ごろの研鑽の成果を発表されました。祭りの幕開けは、阿蘇聖士会の皆さんによる津軽三味線「津軽の響きメドレー」のアトラクションに始まり、開会式を10時から挙行、佐藤雅司県議会議員、佐藤義興阿蘇市長、田中則次市議会議長代理のご挨拶をいただきました。舞台上では、2日間88組のプログラムが生まれ30分の昼食時間をはさんでびっしりと充実した内容の高い発表となりました。プログラムの最後は、波野中江岩戸神楽保存会の皆さんの神楽「八雲払い」で最高の盛り上がりを見せてくれました。

噴煙

第9号
 阿蘇市文化協会
 広報委員会
 (印刷所)
 (有)ヤマベ印刷



新年のご挨拶



阿蘇市
文化協会会長
後藤 新一

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様方には輝かしい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。文化協会も六年目の年であり、催合の館として、多数の会員が力を合せその成果を分かち合うことそのものが、文化協会の役目であり、目的でもあります。その誠意が先の文化祭でも多分に見受けられ、更なる奮起を期待しています。特に市教育委員会、市内の各小中学校、くんの里、みやま荘、上寿園、春りんどう、高齢者教室(木彫り)などの方々には、会場の設営から出展物など多大なるご協力、ご支援をいただきましたこと、ここに厚くお礼と感謝を申し上げます。

量よりも質、年間を通じ日夜積み重ねてきました成果の出来映えを見聞して、楽しみ、やり甲斐、生き甲斐を感じます。地域の文化振興はその地域に住む人達が、各々持っている力を出し合って意気投合し、その時代にふさわしい生活の営みが後世に残り、文化の振興への懇願となるのではないかと思います。常日頃、私達は社会や経済の豊かさを目指し又、望んでいます。

二〇〇九年の漢字一文字は「新」が示されました。寅年に向って新しい物事や事態を期待し、景気の回復をも願っています。

二〇一〇年が寅年にふさわしい佳き年でありませう、会員皆様方の益々の御健勝とご活躍、ご繁栄をご祈念申し上げます。「噴煙」第九号発行の挨拶とします。



阿蘇市長
佐藤 義興

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃からふるさと「阿蘇」の歴史と伝統を学びながら、会員相互の交流を深め、芸術文化の発展はもとより、文化意識の向上・普及に積極的な活動を展開され、明るいまちづくりにより大きく寄与していただいていることに対し、深く敬意と感謝を申し上げます。

本市は美しい自然環境に恵まれ、その自然と人々の共生により、古来から豊かな伝統文化が継承されてきました。また、近年の生涯学習の進展により、文学、音楽、舞踊、絵画、書道などのさまざまなサークルが生まれ、一年を通じて活発な活動が行われております。これらの活動が阿蘇の文化の華となり、市民の皆様が誇るべき財産として未来に継承できますよう願っています。

これからも、自主的な芸術文化活動の推進による心豊かな活力ある社会づくりに努め、阿蘇市の基本理念であります「未来を拓く活力ある人づくり」を積極的に進めて参りますので、今後とも尚一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、皆様の活動により阿蘇市文化協会がますます発展されることと併せて、皆様のご活躍と本年が素晴らしい年になりますことを祈念申し上げます。の挨拶といたします。

の挨拶といたします。

展示の部

更に、着実な前進を

展示委員長
石川 錦弥

第五回の文化祭は会員のご協力の下、課題は残しつつも無事終了しました。今回も、皆様の力の入った作品の数々が一堂に展示され、来場者も納得されたことでしょう。今後も各部の皆様は意欲的な活動を継続し、その成果を積んでいって欲しいと思います。

一方、残された課題はその要因を一つづつ取り除くため、実行委員会での検討は無論、会員の皆様も自分の事として意見を出し合うことが、今求められていることではないでしょうか。沢山の市民のご来場を夢に、関係者全員で頑張っていきましょう。

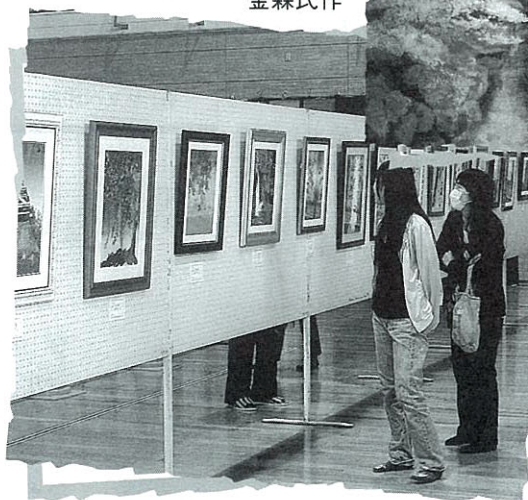


華道展示

「火曜会」
金森氏作



書道展示



押し花展示



かざら展示



飛躍を求めて!
藤乃瑞浩社中 伊藤英子先生の指導で、生涯学習の十三名の皆さんが、月に二回木曜日、お忙しい中に楽しみながら練習されていきました。伺った日は都合により先生は不在でしたが、生徒さんの自主活動で練習されていました。
(社協センターにて)



日舞

教室めぐり ②

園芸教室



迎春「松竹梅」作り

中島 虎雄

阿蘇市生涯学習自主講座園芸教室(中島虎雄学級長)二十名が、十二月十五日阿蘇市就業改善センターに於いて正月飾り「松竹梅」の作品づくりに取組みました(材料は自宅に有る品物、不足分は購入する)。迎春準備にと毎年会員全員で作っています。本年も講師の本田洋典先生の指導で松竹梅を丁寧に作業をし、鉢に阿蘇の五岳と自然を演出するなど、思い思いに工夫をしながら完成させています。鉢には災いを逃れるという意味の「ナンテン」、家庭円満を示す「ハボタン」などを植え込み、それぞれ願いを込めて造りました。

ステージの部

健康の喜びを感じて

ステージ委員長
山部 七生

新年明けましておめでとうございませう。昨秋の第五回文化祭も大きな盛り上がりを見せて無事終了いたしました。ステージでは二日間八十八組のプログラムが生まれ、いずれの舞台も見たえのあるすばらしいものであったと思います。会員皆さんの日ごろの研鑽ご努力の結果であり、ご覧いただいた阿蘇市民の皆さんに大きな感動を与えたものと自負し、ステージ責任者として皆さんに心からお礼を申し上げます。少ない時間と多くの出演希望者で、例年プログラム

編成上で混乱がりましたが、四回にわたる文化祭実行委員会を行う中、分野ごとに統括常任理事を中心にして事前調整をしていただくなど前進がみられました。

ある出演者の方から「舞台出演前の緊張感がたまらなく楽しい」との感想をお聞きしました。準備を進めてきた者として大きな喜びと勇気をいただきました。これから第六回目の文化祭に向けて、会員の皆様には健康に気を付けながら、日々のお稽古に精進されることを祈念いたします。



三味線 三弦会

昂月流阿蘇支部
瑠南ちゃん



詩吟 香雲堂吟詠会

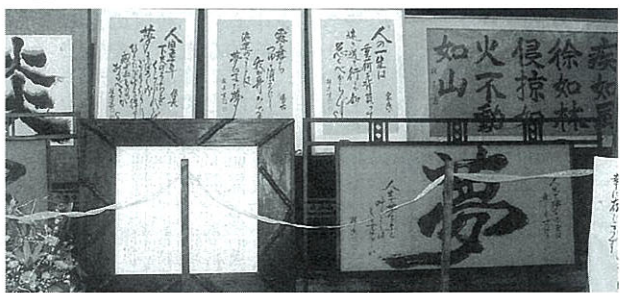


フラダンス



阿蘇キスゲコーラス

書道 書「自・由・遊展」を開くにあたり



この度、書道塾開始から三十五年と還暦を迎え、書道作品展を開くことが出来ました。

六十年の人生で先人達の言葉や夢に励まされたり、助けられたり、我が人生を振り返ると、平凡ながら自分の物差しで計つたら、幸せな人生を生きています。

書道展とは云えませんが、人生の応援歌として心に残るものを自分流に書きとめてみました。今後、田園空間みたいな所で、お茶でも飲みながら気楽に文化を発信できる展示の場所が欲しいものだといふ会員として切に願います。

山本三千代 (山本教室)

会員の活動を紹介します

日舞

「瑞浩会」が発表会

伊藤 英子

去る十月二十五日、日本舞踊家藤の流「瑞浩会」の発表会をホテルサンクラウン大阿蘇にて催しました。古典舞踊、新舞踊を取り入れ、



ひとときを楽しんでいただき会場の皆様との交流を深めました。

客席から大きな拍手をいただき出演者一同感謝の中、幕をおろす事ができました。

事務局だより

事務局長 下村 勝志

■文化協会ホームページを準備しています

平成22年度の正式運用に向けて阿蘇市文化協会ホームページ（以下HP）を準備しています。私たちの日ごろの文化活動を世界に発信し、多くの方に見ていただける手段となります。また、会員相互の情報・意見の交換や協会事務局から会員へのお知らせなど日常的にも便利にご利用いただけるものと思います。どなたでも閲覧できますのでHPで協会の活動内容を知り、私たちの教室へ入会を希望されるかもしれません。

平成22年1月から3月末まで資料の準備期間とし、内容の充実や使い易い誤りのないものに仕上げたいと思います。

4月より正式に運用を開始します。

今後も協会から会員への情報は、事務局から協会役員（常任理事・理事など）を通じて従来どおり行います。しかし、会員の皆さまはこの機会にお孫さんやご子息（学校で勉強しています。）から協会ホームページの開き方だけでも教わってください。楽しい団欒になります。また日常活動の情報（展覧会、競技会、受賞結果、教室行事）などを、協会事務局（事務局：書記／関）にお知らせください。HPには絶えず最新の情報に更新をしていきたいと考えています。

■文化祭の反省会を行う

文化祭の反省会が11月21日に金時旅館の会議室で開かれました。本部役員をはじめ文化祭を陰で支えた常任理事や世話役の皆さんが出席され、多くの意見交換を行いました。ステージの照明や音響に対するクレーム、展示作業のあり方、プログラムの編成や誤りなど次年度文化祭への建設的な意見が議論され改善を誓いました。



第14回阿蘇観月茶会開催

阿蘇観月茶会実行委員会 委員長 小嶋 維男

新年明けましておめでとうございます。

昨年は茶会当日がピッタリ中秋の名月十五夜となり天候にも恵まれ、新たな演出としての竹灯りなど好評を頂きました。

コンサートの方は、十三回の反省を踏まえ、熊本YMCA保育園児の皆さんによる『赤水太鼓2009』と美里町をベースに活動中の男性フオーク・デュオ・アゲインの美しいハーモニーを楽しんで頂きました。

本年は十五回という節目の年で、更に内容の充実した茶会にしたいと、会員一同一丸となって取り組みたいと思います。市民の皆様のご支援ご参加を宜しくお願い申し上げます。

地域文化祭の紹介

阿蘇市の文化活動の盛り上がりの中で、多くの地区が自主的に文化祭を開催しています。地域住民の相互の親睦や、校区のお年寄りや学童のふれあいの機会をつくる目的で実施されています。この地域文化祭に、私たち文化協会の会員が世話役や出演・出展者として活躍しています。

乙姫校区



乙姫小学校の先生方とPTAの皆さんを中心に、校区のお年寄りから伝統的な遊び方や作法を教わり、区民の作品展示や芸能を通じて学童との交流の機会にしようと、文化祭が11月8日に小学校体育館で行われました。学童の研究成果発表も行うなど、すでに乙姫フェスタとして5回目となります。今回もお餅つきや昼食が用意され楽しい一日となりました。

小里区



小里区民の地域文化祭が、区長（大倉勝弘）さんを中心に小里ネットワーク活動の一環として区民のふれあいを目的に小里公民館で11月7・8日に行われました。92歳の高齢者をはじめ30余名の方々の作品展示、舞台はダンスやカラオケ、日舞などで盛り上がりました。また、ぜんざいやお餅、お茶などが振舞われ楽しい文化祭となりました。

会員募集

阿蘇市文化協会では、新会員を年間を通じて募集中です。連絡をお待ちしています。

*連絡先

阿蘇市文化協会事務局

☎0967-22-2223（下村）

広報部

一年間の活動の集大成としての文化祭、無事に終わりました。企画立案し、万全を期して実行したつもりでしたが終わってみれば至らぬ点多々有り、皆様の満足を充たすまでいかなかったのが実情でした。今回の反省を次回への足掛かりとして、本年も皆様の力添えを得ながら歩みを進めて行かねばと思ふ次第です。そして、大自然大阿蘇の懐に抱かれて住む私たちの暮らしの中にも育まれた文化の灯がますます光り輝くように願います。と共に平成二十二年、皆様のご健康とご活躍を心よりお祈りいたします。また会員の皆様には勿論、市民の方々、耳より情報（こんな面白い事をしていないとか、面白なお知らせなど）有りまして、尚、文中の誤字脱字等につきましては何卒ご了承ください。皆さまようお願いします。

広報副委員長 西村伎久乃